

よみがえれ！
有明訴訟弁護団
(後藤 富和)発行
092-512-1636
090-9602-0700

諫早湾干拓「開門すべき」

赤松農水大臣に報告へ

【テレビ朝日・4月28日】諫早湾の干拓事業をめぐる、与党三党の検討委員会が、潮受け堤防の開門調査を実施すべきだとする結論をまとめました。28日午後には赤松農林水産大臣に報告書を提出する予定で、開門調査へ大きな転換点を迎えました。

諫早湾干拓、開門調査に首相前向き姿勢

【読売・4月28日】鳩山首相は28日、国営諫早湾干拓事業（長崎県）の潮受け堤防排水門の開門調査を巡り、農林水産省と与党が設置した検討委員会が「実施が適当だ」とする報告書を赤松農相に提出したことについて、「佐賀県側と長崎県側で必ずしも考えが同じではない難しさはあるが、提案の一つだと真剣に受け止めるべきだ」と述べ、開門調査の実施に前向きな姿勢を示した。首相官邸で記者団の質問に答えた。

佐賀県有明海漁協

「喜ばしい」

原告漁業者「一刻も早く」

【NHK・4月29日】長年、開門を求めてきた佐賀県内の漁業者からは与党の検討委員会の結論を歓迎し一刻も早く開門調査を実現してほしいといった声が聞かれた。このうち、太良町のタイラギ漁業者で、開門調査を求める裁判の原告の平方宣清さんは、「堤防が閉められて以来漁業が成り立たない状況が続いてきただけに長年、訴えてきた開門調査がようやく実施されるということ、大いに期待しています」とその上で、「わたしたちは排水門の即時開門を求めています。ことし中に開門を実現するよう訴えを続けていきたい」と話した。

【毎日・4月30日】国営諫早湾干拓事業を巡り、今夏の参院選で長崎選挙区から再選を目指す民主党の犬塚直史参院議員は29日、「有明海の自然環境再生のため開門実施を訴える」と語った。5月にも開門を表明する見通しの赤松広隆農相が「諫早湾を参院選の争点にする」と語る中、自民党は従来通り「開門反対」で臨むとみられ、地元で諫早が選挙戦の争点となる公算が大きくなった。犬塚氏によると、有明海沿岸の



国会前で開門を訴える漁業者ら・4月22日

生活ができなくなった漁業者もいます。開門してみなければ有明海がどう変わるかわからないのでまずは開門することが必要です。そして、干拓地の営農者にも配慮して農業と漁業の双方が維持できるように方法を考えてほしい」と話した。

民主・犬塚参院議員が 開門に「賛成」表明へ

営農影響への具体策 ない 原告弁護団

【佐賀・4月29日】諫早湾干拓訴訟の原告漁業者や弁護団が28日、検討委員会が提出した開門調査を求めた報告書について「開門調査に一步踏み込んだ点は評価したいが、営農への影響に対する具体策などがなく、政府の強いイニシアチブが感じられない」と述べた。弁護団の堀良一事務局長は「漁業者が要望している早期開門と、農民が抱えている防災や農業用水に関する不安の解消をどうリンクさせ、問題を解決していくかが示されていない」と疑問視。「早期開門は5、6月からでも可能と農水省に訴えたい」と、短期開門調査レベルから段階的に本格開門するよう訴えた。漁業者は「来季もタイラギが捕れるか不安。一日も早い開門を」「今年開門されなければ、大浦地区では3年連続でノリが不漁になる可能性が高い」などと述べた。